

除雪中の事故防止 に向けた対策

住民による雪処理の事故を防ぐために



出典：平成18年豪雪災害活動記録 新潟県魚沼消防本部

＼心がけましょう！／

除雪中の事故防止のための10か条

- 作業は家族、となり近所にも声掛けて2人以上で！
- 低い屋根でも油断は禁物！
- 建物のまわりに雪を残して雪下ろし！
- 作業開始直後と疲れたころは特に慎重に！
- 晴れの日ほど要注意、屋根の雪がゆるるんでる！
- 忘れずに！命綱とヘルメット
- はしごの固定を忘れずに！
- 除雪道具はこまめに手入れ、点検を！
- エンジンを切ってから！除雪機の雪詰まりの取り除き
- 携帯電話の携行を忘れずに！

お問い合わせ先

内閣府 政策統括官(防災担当) 付参事官(災害予防担当) 付 TEL.03-5253-2111
<http://www.bousai.go.jp/fusuigai/setugai/index.html>

国土交通省 都市・地域整備局 地方振興課 TEL.03-5253-8111
<http://www.mlit.go.jp/crd/chisei/index.html>

警察庁、総務省、消防庁、厚生労働省、防衛省

※なお、本パンフレットの内容は、上記問い合わせ先のホームページからダウンロードできます。

除雪中の事故によって毎年

■ 雪による事故の死者の多くは除雪中の事故によるものです。

除雪中の事故の特徴

- 除雪作業中、特に屋根からの転落による事故が多い。
- 高齢者の事故が多い。
- 1人での作業中の事故が多い。
- 作業を始めてから間もない事故が多い。
- 発見時間が遅れるほど死者が多い。
- 「気兼ねする」「無理と思わない」高齢者が多い。

原因別に見た事故の特徴

除雪中の屋根からの転落

- はしごから転落。
- シーズン1回目、気温上昇時に事故が発生。
- 命綱、ヘルメットをしていない。
- 地上に積雪がないことで被害の程度が大きい。
- 1階の屋根の事故が多い。

屋根からの落雪

- 気温上昇時に軒下にいた。
- 落雪式屋根からの落雪が危険大。

除雪機の事故

- 雪詰まりを除去する時の事故。
- 高齢者以外の事故も多い。

除雪中の水路等への転落

- 発見までの時間が長く死亡に至る例も。

除雪に伴う発症

- 寒い屋外での重労働によって発症。

除雪中の事故を防ぐためのポイント

1 必ず2人以上で

- 1) 近隣どうし、地域コミュニティと協力して行う
- 2) 家族、親戚と一緒にいる
- 3) その他の雪処理の担い手と一緒にいる

2 安全性を高める

- 1) 安全の意識を高める
- 2) 道具、器具、機器を活用する
- 3) 適切なメンテナンスをする
- 4) ノウハウ、技術、知識を身につける
- 5) 基準、ルールを定める

3 被害の程度を軽減

- 1) 事故の衝撃を軽減する
- 2) 早期発見する
- 3) 救命救急する

4 作業から解放

- 1) 自力での雪処理が困難な世帯への支援を充実する
- 2) 雪下ろしを不要にする施設整備をする

※ここでいう事故の対象は、「除雪中の屋根からの転落」、「除雪機による事故」、「除雪中の水路等への転落」、「除雪中の転倒」、「除雪に伴う発症」、「屋根からの落雪」とし、「雪による建物の倒壊」、「雪崩による事故」、「雪道での歩行中の転倒」、「雪道での走行中のスリップ事故や吹雪による事故」、「スキー等のレジャー事故」、「雪山による事故(山岳事故)」は含めていないものであるが、これらの雪害についても、今後、関係機関と連携して取り組んでいく必要がある。

多くの犠牲者が出ています。



除雪中の事故はこんなケース、こんな原因で起きています。

屋根からの転落

- 屋根の上でスリップして転落
- 屋根の上の雪が滑り落ちてきてバランスを崩して転落
- 落ちた場所は積雪がなく、地面、アスファルト、コンクリートが露出していたため、被害の程度が増大した
- 気温が暖かく、屋根の雪が滑りやすくなっていた
- 命綱、ヘルメットをしていなかった

屋根からの落雪

- 軒下で除雪中に落雪で埋まる、落雪が直撃する
- 気温が暖かく、屋根雪が緩み出すときに軒下に近づいた
- 落雪式屋根からの落雪が危険大

水路等への転落

- 玄関先の融雪槽にスコップで投雪中、槽内に転落
- 融雪槽に取り付けてある転落防止柵が外してあった

除雪機の事故

- 除雪機のエンジンを止めず、雪詰まりを取り除こうとしたため、体の一部が巻き込まれる
- 約7割が40代、50代など高齢者以外の比較的若い世代

はしごからの転落

- はしごの足が滑って、はしごといっしょに転落
- はしごから屋根に移動するときに転落
- はしごの上から雪庇を落としていてバランスを崩し転落
- はしごを固定していなかった
- 足場を除雪したあとで、地面が露出していた
- 命綱、ヘルメットをしていなかった

除雪に伴う発症

- 除雪作業中に急に座り込んで倒れ(心肺停止)、救急搬送される
- 体調などに無理や油断があった

思い当たりませんか？

除雪作業に対する慣れや過信、油断が事故を招いています。

- 「雪下ろしには慣れている」という過信や油断はありませんか？
- 自分の年齢や体力に対する過信はありませんか？

除雪中の事故の危険を理解し、安全な対策を講じることが、事故を防ぎます。

除雪中の事故の効果的な対策

1 みんなで協力・助け合い



① 地域コミュニティの共助による雪処理活動を行う仕組みをつくりましょう。

日時を決めて、近隣どうし、地域が一斉に除雪作業を行いましょう。

② 近隣、地域で日頃からの見守りや声かけをしましょう。

日頃から除雪作業をしている人に声をかけたり、1人で作業している人に注意をしましょう。

③ 地域内外の雪処理の担い手による協力が必要です。

地域内外から雪処理の担い手を受け入れるための仕組みをつくりましょう。

近隣どうし、地域コミュニティによる共助の事例

山形県尾花沢市

地域の共助による一斉除雪の実施



高齢者宅の除雪の様子



地域住民による屋根の雪下ろし

安全に作業を行うための技術指導、講習会の事例

秋田県横手市

安全な雪下ろし講習会



住民にはしごの固定方法を指導



住民に命綱を装着した雪下ろしを指導



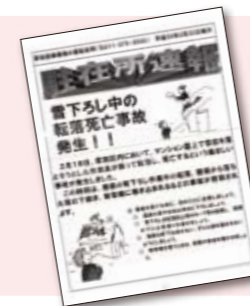
除雪用具の例

④ 「注意喚起」の情報に気をつけましょう。

除雪中の事故が起こりやすい時に行われる広報に気を配りましょう。

気温が上がって雪が緩みやすくなった時などに、広報誌、防災無線、ケーブルテレビ、ラジオ等で流される「注意喚起」の情報、お知らせに気をつけましょう。

雪害の事故防止を呼びかけるチラシ



(札幌方面厚別警察署)

ケーブルテレビによる雪の事故防止の情報提供



(新潟県上越市安塚区)

告知端末



(新潟県上越市安塚区)

積雪量、降雪量、最高気温に基づく事故の発生しやすいタイミングで発信される「雪下ろし・落雪事故防止注意喚起情報」の活用(山形県)

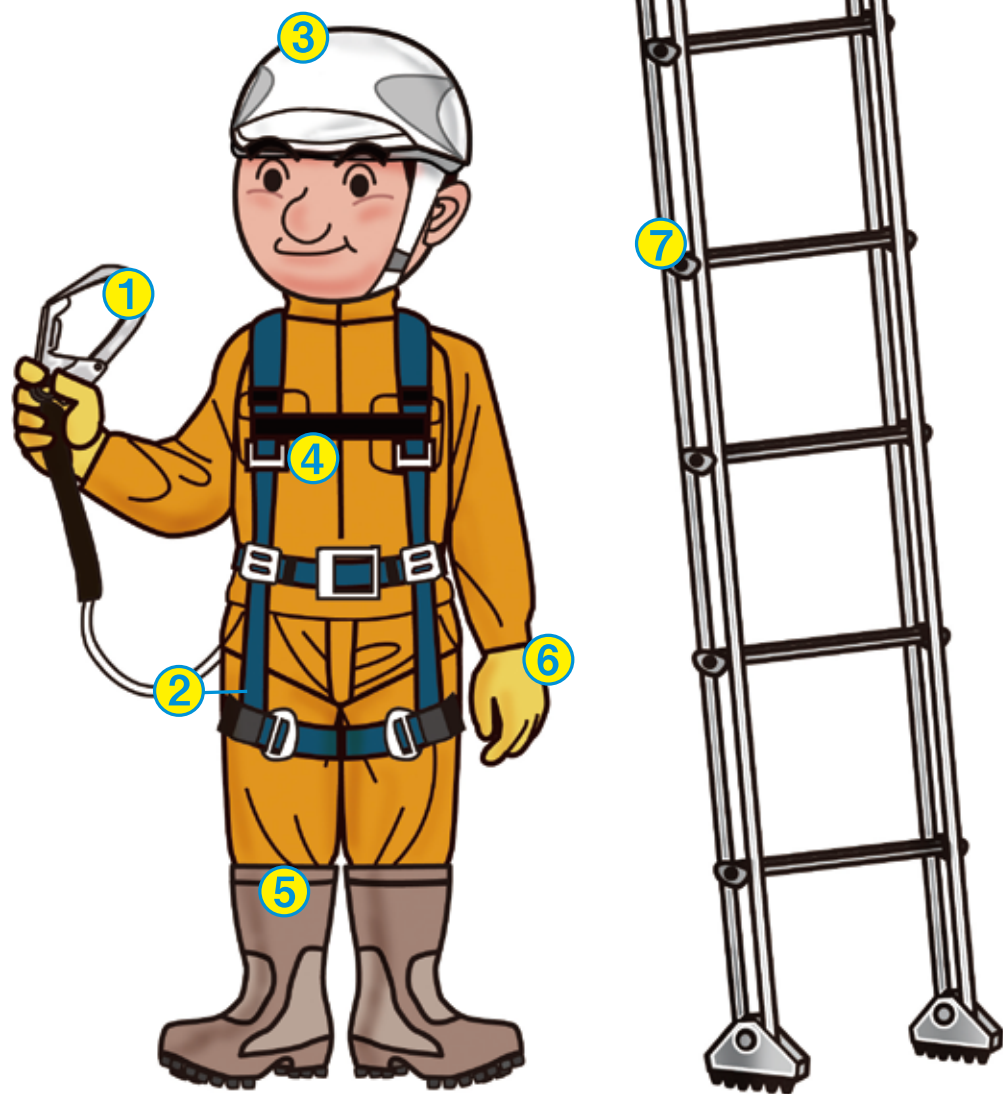
この情報は、山形県と(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所の協力により立ち上げた。



2 安全な除雪作業のための技術指導、講習会への参加

市町村、消防署、警察署などが開催する安全な除雪作業のための技術指導、講習会に参加しましょう。

安全な除雪作業のための装備の例

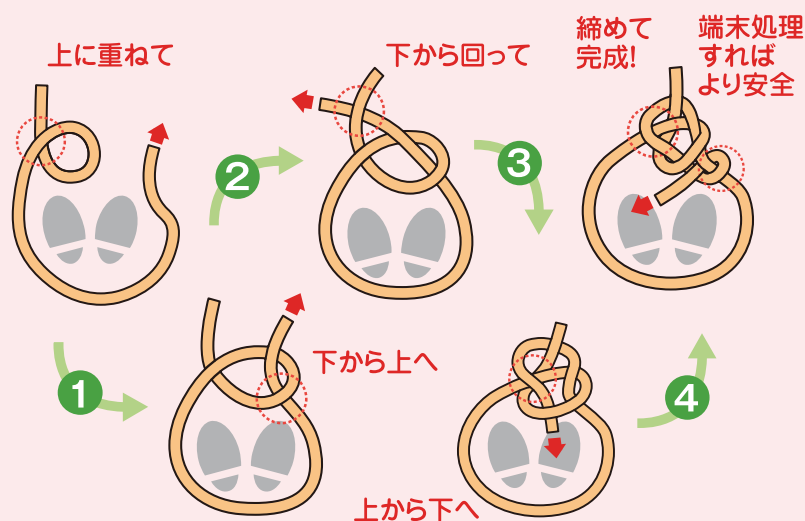


- ① 専用フックのついた命綱と安全帯
- ② 安全帯は体全体を支えるフルハーネスタイプもあります
- ③ ヘルメットは正しく着用
- ④ 動きやすい服装で。目立つ色がおすすめ
- ⑤ 靴底が滑りにくいゴム長靴
- ⑥ 防寒性の滑りにくい手袋
- ⑦ 滑り止め金具のついたはしご

転落防止のため、安全帯や命綱を使いましょう。

- 命綱を体に固定するには専用のフックがついた安全帯の使用が効果的です。
- 安全帯がない場合は、命綱にはザイルや麻ロープを使用しましょう。トラロープは滑りやすいので使わないようにしましょう。
- 命綱を固定するには反対側の家の柱に固定するなど状況に応じて工夫しましょう。
- 命綱は屋根の上で止まる長さに調節しましょう。

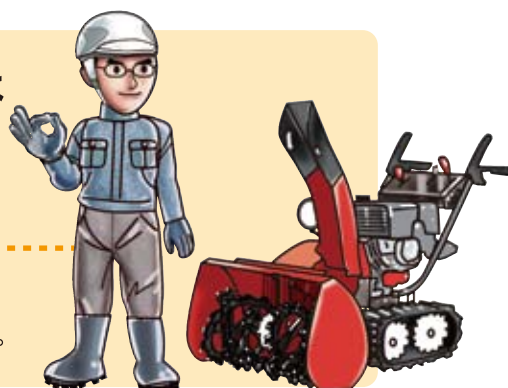
安全帯がない場合の命綱の結び方(もやい結び)



ロープによる命綱を腰など体に巻く時は、ゆるめずしっかり巻きましょう。

除雪機の雪詰まり除去はエンジンを止めてから行いましょう。

- 除雪機の雪詰まり除去は、素手で行わず、棒などを使って行いましょう。



はしごはしっかり固定し、足場は滑らないようにしましょう。

- はしごの転倒防止のため、はしごの足元をしっかりと固め、ロープや器具などを用いて屋根に固定しましょう。
- はしごは屋根に対して真っ直ぐに、決められた角度でかけましょう。斜め屋根への立てかけは危険です。
- はしごの昇り降りの際には特に注意しましょう。

はしご固定の例
(家屋のまわりにロープをめぐらせて固定)



除雪の道具のメンテナンスを忘れずに。

- スコップ、スノーダンプはロウを塗るなどして手入れを怠らないようにしましょう。雪がつきにくくなるスプレーも市販されています。

3 安全な道具、機器の利用

事故の防止に役立つ道具、器具、機器を利用しましょう。

- 命綱セット(安全帯・ハーネス・命綱・フック等)やヘルメットを備えましょう。

4 事故発生に備えて

救急救命の方法、AEDの使い方を知っておきましょう。

- 除雪中の事故を想定した救急救命講習やAED講習に参加して、救急救命の方法やAEDの使い方を日頃から身につけておきましょう。
AED＝自動体外式除細動器。心臓がけいれんし、血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)の時に、心臓に電気ショックを与え正常なリズムに戻すための医療機器。

除雪作業時には携帯電話を携帯しましょう。

- 除雪作業時には携帯電話を携帯して、もし事故が起こったときに家族や近隣、救急医療機関などへ連絡がとれるようにしましょう。

